

～新型コロナウイルスに対する企業支援施策～

申請するタイミングで不公平が出てくるのではないかとの意見もあり、申請すれば国と町の給付を両方もらえることになりました。今後、まだ困っている飲食業や他の業種があるので、全世帯に食事券を配るなど第3弾、4弾の対応を考えほしいとの意見には、国第2次補正もあるので、困っている人、事業者を把握し、対応していくとの答えでした。

国と県の支援から外れ、売り上げが同年同月比20%減の小規模事業者へ支給となっているが、支給対象者が複雑すぎるのでないかと意見がありました。期限を区切つてやつてきたい」との回答。



気軽にお問い合わせください
(大石田町商工会)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業収入が減少した事業者が今後も事業を継続する意思がある場合に、事業の継続を支援するため、事業継続支援給付金（一律5万円）を給付します。

【申請期間】令和2年7月1日(水)～9月30日(水)必着

【給付金の額】一律5万円

【申請書類・申請先】大石田町商工会
※交付対象事業には条件があります。

【お問い合わせ先】
大石田町商工会(☎35-2131)
大石田町役場産業振興課(☎35-2111)

事業継続支援給付金

大石田町農業委員の任命に同意

斎藤松吉さん(岩ヶ袋) 高橋 肇さん(小 菅) 青木忠弘さん(大 浦) 土屋隆志さん(川 前)
高橋正子さん(坂ノ上) 井上和巳さん(田沢下) 星川松雄さん(駒 籠) 笹原 剛さん(鷹巣2)
今野悦子さん(鷹巣2) 永登登一さん(駒 籠) 間宮良一さん(佐田町) 菅原直志さん(今 宿)
飛渡 孝さん(来迎寺) 遠藤史夫さん(曙 町)

全員賛成



- ◆看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について
- ◆介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書の提出について

提出先
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣



第3回 臨時会 4/16

- ◆一般会計補正予算(第1回)
3514万7千円追加可決
 - ・感染症対策のための消耗品購入
 - ・地域振興公社へ緊急経済支援
 - ・臨時休校に伴う給食材料費補填 など

第4回 臨時会 5/15

- ◆一般会計補正予算(第2回)
7億1701万4千円専決報告
 - ・特別定額給付金給付事業 など
- ◆一般会計補正予算(第3回)
667万円追加可決



先輩方の想いを繋ぎ、がんばるぞ！(中学校・部活動引継式)



細心の注意を払つて行つていく

一藤部 冬馬 議員

学校再開の課題

3密を避ける対策は、教育長が教出された「学校再開に向けた感染防止対策緊急点検チェックリスト」に基づき、細心の注意を払って対応する必要はないか。生徒で、保健室を分離して対応する必要はないか。生徒に関しては保健室での対応も検討している。

熱中症対策

夏休みが短縮になり、夏にマスクを着用し授業を受けなければならない。教育長は、エアコンと窓を開けての換気の併用、定期的な水分補給を行い、学習を進めていく。体育や部活動は、可能な限り屋外で行うよう指導計画を組み替え、場に応じてマスクの着脱を行なう配慮していく。

総務課長

暑さ指数の厳重警戒レベルを知らせる「大石田町熱中症アラート」をやってみてはどうか。教育長は、養護教諭の判断と管理職の責任で、中止の決断をしていく。

オンライン授業

踏まえながら考へていく。いか、国の取り組みなどを踏まえながら考へていく。町民にお知らせしたるよによる判断状況は、熱中症の危険があつても「やめられない部活動」の事例もある。暑さ指数による判断状況は、

熱中症予防運動指針			
気温(参考)	暑さ指数(WBGT)		
35°C以上	31°C以上	運動は原則中止	WBGT31°C以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31~35°C	28~31°C	厳重警戒(激しい運動は中止)	WBGT28°C以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息を取り水分・塩分の補給を行う。
28~31°C	25~28°C	警戒(積極的に休息)	WBGT25°C以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息を取り適宜、水分・塩分を補給する。
24~28°C	21~25°C	注意(積極的に水分補給)	WBGT21°C以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。
24°C未満	21°C未満	ほぼ安全(適宜水分補給)	WBGT21°C未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給が必要である。

運動に関する指針(環境省HP)

現段階の進捗状況

教育長は、一人一台のタブレットは、今年度中に用意する予定。今後は、家庭の環境を詳しく調査し、実施マニュアルを作成するなど、できるところから進めていく。